第 103 回　物質循環談話会
2006 年度　物質循環学科
卒業研究発表会

日時：2007 年 2 月 9 日（金）9:30〜17:00
場所：理学部講義棟 1 番教室

9:30–10:30
　浅利　朋子　山地森林域の化学物質循環に及ぼす草本植生の影響
　石原　正嗣　河畔域における徘徊性節足動物の分布
　市川　博　　青森県下北半島沖ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞｺｱを用いた更新世後期古気候変動の解明
　井上　翔太　諏訪湖の水草帯における環境の不均一性と水草付着微小動物の分布
　内山　隆文　毛糸を用いた大気汚染の簡易モニタリング法の開発
10:30–10:45　＜休憩＞
10:45–11:45
　北　圭一郎　北アルプス地域の湧水・温泉水の化学的性質と地質・地震の比較
　古賀　信義　窒素添加がササ、カラマツ、広葉樹落葉リター分解に与える影響の比較
　佐野　真規　河川水中のリターに生息する水生昆虫の分布とその遷移
　鈴木　裕衣　浅間温泉・美ヶ原温泉地域における温泉化学成分と降水量・地震活動
　高坂　浩通　窒素負荷の異なる森林における亜酸化窒素発生速度について
11:45–13:00　＜休憩＞
13:00–14:00
　高橋　功治　淡水湖沼水中の高分子量溶存有機物の特性
　高橋　広樹　融雪時における積雪中の化学物質濃度の変動
　高橋　洋武　南極氷床 YM85 コアにおける化学成分濃度変動
　武田　暁　　福井県三方五湖・水月湖における有機地球化学的研究
　藤井　嘉範　藍藻毒素 microcystin のバクテリアに与える影響
14:00–14:15　＜休憩＞
14:15–15:15
　本間　彩花　長野県小谷村地域における温泉水の化学成分と地下構造
　前嶋　和彦　藍藻毒素 microcystin のブロッコリー(*Brassica oleracea* var. *italica*)
　　の生長に与える影響
　宮本　裕行　長野県における河川水中の溶存有機態窒素の濃度
　村上　智岐　ビオトープ池における生態系の変化–魚とミジンコの相互関係に注目して
　楊　　柳　　中国･広東省における河川水に及ぼす人間活動の影響
15:15–15:30　＜休憩＞
15:30–16:30
　大脇　美紀　森林土壌中のアルミニウム耐性細菌の分離と同定
　清水　理恵　サドノウサギの生息地選択と分布
　宮岸　靖典　植物リター分解過程でのフォスファターゼ活性と可給態リン濃度の経時変化
　谷澤　新司　高野層の粒子密度変化に基づく古環境変動の解析
　林　　良二　森林土壌中のアルミニウム濃度と土壌細菌群の耐性度との関係

（発表 10 分、質疑応答 2 分）
＊＊＊興味のある方はお気軽に御参加下さい＊＊＊
なお、物質循環学科４年生、院生はセミナーの単位なので必修です